

別紙 ③
1 /

打合せ記録簿

第1回	総括調査員 主任調査員 調査員 調査員				管理技術者	
発注者：印					受注者：印	
日時	令和元年9月19日(木)			場所	舞鶴市役所	
業務名	五老スカイタワー再生可能エネルギー導入及びコミュニティFM中継局設置等施設詳細設計業務			打合せ方式	会議 電話	
事務所名 業務担当課	舞鶴市 広報広聴課			会社名 (受注者側)	株式会社 建設技術研究所	
出席者	発注者側	舞鶴市 三輪課長、 山内係長、谷様 高井係長(設備係)		事業者	FM まいづる 時岡代表取締役、 上田製作チーフ	
				受注者側	[REDACTED]	
<p>1. 提出資料</p> <p>① 業務計画書</p> <p>② 打合せレジュメ</p> <p>2. 確認事項(以下、敬称略)</p> <p>(1) 業務計画書について</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 業務計画書を提出し、業務内容及び工程の確認を行った。 ▶ 本事業に係る工事はR2(2020)年の4月に工事発注を予定しており、R3(2021)年の3月完成が必要である。期間内での完成が本事業の要件となる。(三輪) ▶ 本年11月末までに本事業に係る概算費用(案)を整理し、提出すること。(山内) <p>(2) 再生可能エネルギー設備設計</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 五老スカイタワーに整備予定であるイルミネーション/ライトアップやデジタルサイネージ等の具体案はFMまいづるより提案する。(時岡) ▶ 五老ヶ岳カフェテリアの屋上に設置されている気象観測装置の取扱いについて舞鶴市で確認する。(山内) ▶ イルミネーション/ライトアップの主電源は太陽電池及び蓄電池とする。[REDACTED] <p>(3) コミュニティFM設備設計</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 加佐地区におけるコミュニティFMの中継所の拠点は、保守点検・経済性・サービス圏内における世帯数を検討の上、決定していただきたい。(時岡) ▶ 上根公民館の中継所の要否は対象世帯数を考慮して判断する。(三輪) ▶ 近年の台風や地震等による自然災害により、停電や光ケーブルの断線等が長期に及んだという課題を踏まえ、無線中継(無線STL)による音声伝送が重要と考える。(上田) ⇒無線STLは、無線局免許が総務本省決裁となる。審査が長期となり、無線機の製作が間に合わなければ本事業の対象とならない。[REDACTED] ⇒近畿総合通信局に審査期間の見直しをヒアリングし、無線STLの事業可能性を確認する(上田) ▶ 旧岡田中小が無線STLでの運用が可能か机上検討してほしい。(上田) ⇒無線STLの事業性が確認できた場合に対応する。[REDACTED] ▶ 京都府空山局の一部借用については府より概ね了解されているが、中継所の新設にあたり発注者より関係者(京都府又は消防本部)に以下の点を確認するため、受注者は協議資料を用意すること。(山内) ・既設の発電機の所有者及び利用の可否の確認 						

注) 内容欄には、下記事項毎に整理して記載すること。 1
 発注者：請求、通知、協議、回答、承諾
 受注者：請求、通知、報告、申し出、質問、協議、提出

打合せの部度2部作成し
 発注者・受注者双方が保管する。

- ・コミュニティFMの設備（筐体、アンテナ）の設置スペースの確認
- 親局のUPSは停電補償時間5～6時間である。過去の災害実績を踏まえると、人員対応の困難性より、新設中継局の非常電源には停電補償時間48時間以上を希望する。（時岡）

(4) その他

- 経済産業局との協議では以下の事項を確認予定とする。（山内）
 - ・本工事費用に機器の撤去費用（ライトアップ等）を含んでよいか。
 - ・蓄電池の電源として太陽光発電設備に加え、商用電源より充電してよいか。
 - ・演奏所の改造（新設中継所へ音声送出するための既設改造）を含んでよいか。
- 五老ヶ岳カフェテリアの屋根や外壁等は来年度補修予定である。本事業とは別費目となるが、大まかな費用を提案いただきたい。（高井）
⇒承知した。（向井）
- 借用図書として、五老ヶ岳カフェテリアの建築確認申請書類等の強度計算に必要な書類を提供していただきたい。（向井）
⇒承知した。（高井）

以上

注) 内容欄には、下記事項毎に整理して記載すること。 2
発注者：請求、通知、協議、回答、承諾
受注者：請求、通知、報告、申し出、質問、協議、提出

打合せの都度2部作成し
発注者・受注者双方が保管する。